

- 復興水産物の消費拡大に向けて、水産物消費拡大検討会で示された対応方向である「復興水産物に対する安心の確保」及び「復興水産物の認知度向上と消費拡大」に向けた取組を、引き続き実施していく。

## <復興水産物の消費拡大に向けた取組の例>

### 1. (公社) 福島相双復興推進機構 (官民合同チーム) による支援

- ◆ 令和3年6月から浜通り地域等15市町村の水産関係の仲買・加工業者への個別訪問、「6次産業化等へ向けた事業者間マッチング等支援事業」等とも連携した販路開拓等の支援を開始。

#### <主な取組状況>

約90者を訪問、約50者に対して支援を開始  
 → **5事業者が6社と新規取引成約を実現。**  
**4事業者が計6名の人材確保を実現。**

※令和4年1月末時点

#### <支援事例> マル六佐藤水産 (福島県相馬市)

- 昭和25年に創業の同社は、相馬で揚がるヤナギダコやミズダコなどの加工品を製造販売。
- これまで操業自粛の影響を受けてきたが、令和3年3月の試験操業終了後、新たな販路開拓先を模索。
- 関西系食品スーパーとの商談を経て、新たな取引を実現。



関西スーパーでポイルヤナギダコが販売されている売場の様子

### 2. 東北経済産業局による取組

- ◆ 会社の売上や認知度の向上、新商品開発ニーズの把握、社会・地域貢献・SDGs等の取組を普及するべく、**①水産版Open Factory (生産現場を一般公開し、体験してもらう取組) に関するオンラインセミナーを開催**。
- ◆ **②水産そのものを地域資源とする体験型工場見学**や、**③海での収穫から消費までを一気通貫した体験型アクティビティ**の試験的実施、**航空会社と連携した広報等の取組を支援**。

▷ 齊吉商店(宮城県気仙沼市)による体験型工場見学(料理教室)の様子



▷ 阿部長商店、気仙沼DMO(宮城県気仙沼市)による体験型アクティビティの様子



▽▷ オンラインセミナーと共和水産(岩手県宮古市)によるオープンファクトリーの取組の様子



令和4年1月12日(水) 14時~開催 水産 Open Factory

第一回 三陸水産 Open Factory オンラインセミナー

三陸の水産加工におけるオープンファクトリーの可能性について議論するセミナーを開催いたします！

【趣旨】  
 □ 社会貢献、地域貢献、SDGsの取組の手段として  
 □ 選り抜いて新しい顧客の獲得に  
 □ 選り抜いて新卒社員獲得に

【オープンファクトリーとは?】  
 ○ 1つの事が活動し、モノづくりについて現場を公開し、お客様(お客様)に体験してもらう取り組みです。  
 ○ 企業現場を公開し、交流を促すことで、商品開発や仕事に対する生の声や従業員が活躍の場と関わる機会を創出、会社としての認知度アップなどに繋がります。  
 ○ また、水産加工においては、観光、アクティビティ(教材「教育観光、体験コンテンツ」として水産物等に限定して活用)と組み合わせることで、単独型(お客様)に対する関係の構築や販路拡大の期待ももたせられます。

令和4年1月12日(水) 14:00~15:00

今回の講師・登壇者  
 水産加工場で地域観光教材として、地域・社会貢献の一環として、オープンファクトリーを実施している共和水産(岩手県宮古市)の広報を聞き、今後の検討の一助としていただければ幸いです！

共和水産株式会社 (岩手県宮古市)  
 代表取締役 鈴木 義太 氏  
 共和水産はイカ、サンマ、サケ、ウニなどを中心に水産物を製造・販売、RPO(観光)を目的に11号線、船中イカ(五子)と船中アブリ(五子)を開業し、地域観光教材としての水産物を見学、積極的にオープンファクトリーを実施している。